



白萩

学校だより「しらはぎ」

2月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 宮下 茂樹

気概をもつ

校長 木下 美彦

校舎まわりを歩くと梅や水仙の花が咲き出し、確実に季節が進んでいることを感じます。

13日の夜は長い揺れで目を覚ましました。福島・宮城を震度6強の地震が襲いました。東北地方の方々には、また負担が掛かってくることを察します。東日本大震災から10年となり、改めて防災や日頃からの訓練の重要性を意識し過ぎさねばならないと思いました。

春の臨時休業で、学校行事の時期を変えました。体育大会を秋に実施したことで、合唱コンクールを3月に変更しましたが、三学期の緊急事態宣言の再発令とともに延期、日常の教育活動も感染予防対策の制限を設けて取り組みながら、現在に至っています。合唱コンクールは今後の緩和も想定しながら、日程と内容を変更することといたしました。名称は合唱発表会としました。例年は秋川キララホール会場でしたが、学校の体育館で学年別の発表とし、3学年は3月15日（月）、1・2学年は3月22日（月）とします。保護者の皆様に生徒の成長の姿を披露できないことがとても残念です。変更に関し変更で申し訳ありませんが、できる限りの準備をして臨みたいと考えます。

学年末考査後には、課題曲・自由曲の2曲を各学級で、しっかりと練習して、学級ごとの成果を互いに確かめ合う場になるよう進めて参ります。

放送朝礼で以下の話をしました。…入学試験も大詰めです。健康状態に気をつけ、持てる力を十分に発揮できるようにしましょう。今週も3年生だけではなく、全校生徒皆、先生方とともに、互いを思いやり、落ち着いた学校生活を過ごせるよう心掛けましょう。今日は「気概」という言葉を紹介します。気概をもって取り組んでほしいと思うからです。国語辞典には、「困難にも、くじけない盛んな意気」とあります。コロナで様々なことが困難にあたっている状況は、皆さんもご存じの通りです。私たち学校で学ぶ者、教える者も同じ状況下にいます。成長期の中学生に、いろいろな制限をさせるのは、残念なことと思っています。

(略) …いろいろ考えてしまっ、精神的にも不安定になってしまいそうです。感染症対応だけでなく、様々な心配ごとが広がってしまいます。学校を取り巻く教育の世界も厳しい状況があります、あと1か月、くじけそうな状況でも、気概をもって取り組みたい。(略) 水曜日からは学年末考査1週間前です。緊急事態宣言のその後やワクチン接種の状況、そして教育活動の制限の緩和がどのように進むのかもありますが、まずは、定期考査に向けて全力で取り組んでください。テスト明けは、新たな気持ちで学校行事の取り組みに重点を置くようにしたいものです。何事にも、気概をもって取り組む姿勢を持ちたいと思います。



年度末に向けて、教職員一丸となって取り組みます。皆様も感染防止対策、健康に留意され、お過ごしください。